

▶教育同盟史研究プロジェクト報告
「戦時下の教育同盟」(2面)
▶学内教職員研修会講師派遣制度募集
・25年度利用実績報告(2面)
▶第67回中高研究集会(3面)
▶東北・北海道地区教育研究集会
中高部会(2面)
▶キリスト教教育者物語、公募(2面)
▶北星学園女子中学高等学校
クリスマス行事(4面)
▶神戸女学院 創立150周年(2面)
▶キリスト教Q&A、行事予定(2面)

キリスト教学校教育 12

2024・2025年度教研テーマ
新たな時代におけるキリスト教学校の使命と連帯 ―いのちの輝きと平和を求めて―

http://www.k-doumei.or.jp
E-mail info@k-doumei.or.jp

(一社)キリスト教学校教育同盟
〒169-0051
東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館72号室
電話 03(6233)8225
FAX 03(6233)8226
理事長 西原 康太
編集人 豊川 慎
頒価200円(加盟法人の購読料は会費に
含まれています)(毎月1回15日発行)

「ところが、『ヘロデの
ところへ帰るな』と夢でお
告げがあったので、別の道
を通って自分たちの国へ帰
って行った。」(マタイによ
る福音書2章12節)

クリスマス、おめでとう
ございます。まず、ガザや
ウクライナをはじめ、こん
なことが本当にあつていい
のかと叫びたくなるほど、
「いのち」がないがしろにさ
れている世界各地の紛争の
地に、一日も早く争いが終
結し、真の平和が実現しま
すように祈り致します。

さて、先日、友人から、
「ぜひ読んでほしいよ。」
と、一冊の本を紹介されま
した。それは、中村桂子著
「人類はどこで間違えたの
か」(中公新書ラブレ)です。
この本の冒頭、「はじめ
に――本来の生き方を求め



「イエス・キリストのたん生」 横浜三育小学校 5年
浦島めぐみ

《作品制作にあたり》

10月中旬からは、12月初めの大切な行事であるクリスマス
会の準備を全校で始めます。今年、5年生は図工でもキリス
ト降誕の様子を水彩画で表現してくれました。1年生から続
けて指導を受けている図工科の先生からは、細かいところも
筆で丁寧に仕上げるようにとアドバイスを受けたそうです。
この絵を描いた児童は、「イエス様の誕生のよろこびを、ど
のようにしたら上手くあらわせるのか、考えながら描きまし
た。」と答えていました。(横浜三育小学校 校長 野口秀昭)

クリスマスメッセージ

別の道 本来の道



磯 晴久

「ところ、中村桂子先生
は絨織の重要無形文化財保
持者で文化勲章受章者の志
村ふくみさんの言葉を紹介
しておられます。『今、目
前にある現実がすべてでは
ない。もっと違った別の道
があるかもしれない』。こ
の本の題名「人類はどこで

ちのところに来てくださつ
た意味を味わうクリスマス
がやってきました。星の導き
の下、赤ちゃんイエスに出
会った占星術の学者たち
は、『ヘロデのところへ帰
るな』との夢のお告げを受
けて、彼らはヘロデの元へ
帰る道ではなく、別の道を

間違えたのか」も大変心に
残りましたし、「もっと違
った別の道があるのではな
いか」との言葉も、この本
と出会ってから、ずっと私
自身が問われていると感じ
ております。
そして、主イエスが私た

地方の幼子を皆殺しにする
ヘロデの姿が記されていま
す。(マタイによる福音書
2章13〜18節)今世界各地
で起こっている悲惨な争い
や事件を引き起こす人々の
姿と重なります。
一方、クリスマスに救い
主イエスは、赤ちゃんの姿
で私たちのところに来られ
ます。

武器も軍隊も持たない非
暴力の救い主です。誰も拒
絶しない開かれた救い主で
す。「いのち」そのものの
お姿です。ここに「別の
道」「本来の道」があるの
ではないでしょうか。そし
て、プール学院では「愛と
奉仕」、桃山学院では「自
由と愛」の建学の精神の根
底にある道だと私は信じて
おります。
(プール学院理事長、桃山学
院院長、教育同盟理事)



開会礼拝

学校代表者協議
会は今年もオンラ
イン併用で行わ
れ、青山学院ガウ
チャー記念礼拝堂
を主な会場として、の
べ200名を超える加
盟学校の代表者が参加
された。(1日目会場

第67回学校代表者協議会
(学)青山学院で開催(速報)
11月7日(金)〜8日(土)



グループ討議

初日講演後の質疑応
答は熱のこもった時間
となったが、今回は分
団討議後の全体会でも
通常のグループ報告に
加え、さらに質問や意
見交換の時間が持たれ
たことを報告したい。
今年には会場校の提案
で施設見学の時を設



キャンパスツアーや礼拝
奉仕で学生が活躍



あたった。礼拝でも学

「天使は言った。『恐れるな。私は、すべての
の民に与えられる大きな喜びを告げる。』」
(ルカによる福音書2章10節(聖書協会共同訳))

私たちは自然の中で、また日常の中で感謝を
覚え、その感謝の大切さを改めて思い起こしま
す。美しい自然やそこから得られる収穫は私たち
のためにあり、日常で出会う人々は私たちが
を支え、助けてくれます。私たちはそれらを意識
的に心に留め、記憶することで感謝の気持ちを
抱きます。特に、何の基盤もなく日本に来て暮
らす外国人として、私はこうした感謝の気持ち
を一層深く実感しています。

しかし、このような感謝には限界もありま
す。自然や人間関係の中で抱く感情は、多くの
場合、因果関係や利害に基づくものです。した
がって、自然や人が自分とは関係ない、あるい
は害になると感じられる場合には、感謝の気持
ちは薄れ、無視や憎しみ、敵意に変わりやす
くなります。したがって、感謝とは、相手とつな
がるようにする共同体の秩序や道徳、そして相
手に害ではなく利益をもたらす自分の能力や努



聖書のこぼれ

変わらぬ 感謝



李 相寅

力の発揮が求められるものでもあります。

一方で、因果や利害関係、共同体における秩
序や道徳、自身の能力や努力に基づく感謝とは
異なる感謝も存在します。キリスト教は、この
感謝をイエス・キリストを通して知り、実際に
経験したと証言しています。それは世界に向け
られた神の一方的な恵みとして、特別な啓示と
して与えられた感謝です。この感謝を受け入れ
るすべての人にとって、それは大きな喜び、
「変わらぬ感謝」となります。そして私たちが
この変わらぬ感謝を心の奥深くに抱く時、それ
は、自然や日常の中で生じる無視や憎しみ、敵
意さえも恐れない救いの希望へと変わるので
す。

12月は、すべての人、すべての民にとって変
わらぬ感謝の対象であるイエス・キリストの誕
生を祝う月です。キリスト教学校に招かれ働く
人々として、私たちはイエスの誕生を、私たち
の自然や日常を包み込む神の一方的な恵み、特
別な啓示として心に留め、感謝すべきでしょ
う。

〈立教池袋中学校・高等学校 チャプレン〉

生たちの奉唱のほか、
教職員がハンドベル演
奏で奉仕された。
会場校の皆様のご協
力には改めて感謝申し
上げたい。(事務局報)
※当日の礼拝説教及び講
演要旨は次号に掲載。

教育同盟史研究プロジェクト報告(新史料より)

戦時下の教育同盟

明治学院歴史資料館協力研究員
キリスト教学校教育同盟史研究プロジェクト委員

辻 直人



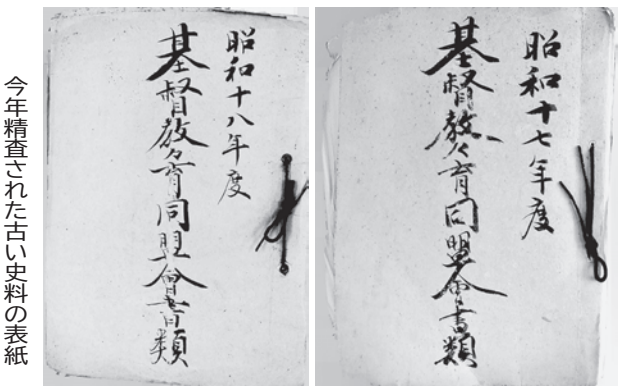
資料整理とプロジェクトの現状

戦前の史料はなぜ残ったか

教育同盟は今年創立115年目を迎えました。『キリスト教学校教育同盟百年史』編纂以降、集められた資料を今後の研究にも活かせるよう進められてきた資料整理作業は、今後、配架及び資料目録の確定を目指しています。古い史料については脱酸処理や補修といった作業も今後計画的に進めていく予定です。また、これらの史料を用いた同盟史研究プロジェクトでは、前回の記事(2024年6月号)で紹介した1943(昭和18)年の「宗教行事調査」の内容を継続して検討しており、来年度には何らかの成果が報告できればと考えています。



脱酸処理する資料とコンテナ



今年精査された古い史料の表紙

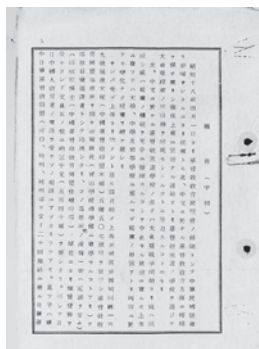
戦前の史料はなぜ残ったか。戦前の教育同盟事務局は固有の場所ではなく、理事長の在職している法人事務局内に置かれていました。戦災に遭わなかったこと自体奇跡的です。これらの史料は失われるともう復刻できません。そのため、現物の保管と同時に、電子媒体での保存も今後不可欠です。

上海にあった事務所

戦時中、教育同盟の事務所が中国上海にもあったことは、ほとんど知られていません。『昭和十八年度基督教々育同盟會書類』所収の1943(昭和18)年7月20日付の教育同盟顧問阿部義宗(元青山学院)からの報告書には、同年4月、中国基督教聯盟本部の一室を借りて教育同盟の事務所を開いたと書かれています。

阿部義宗が上海にいるのは、教育同盟

阿部義宗氏の報告書(1943年)



より、キリスト教の大陸進出を促されている」と発言。更に顧問の阿部義宗が「今後の興亜の為に基督教が、殊に基督教教育家の絶大なる援助が必要と主張したことから、大陸との連携を強化すべく興亜教育常設委員会の設置を決議しました。

同年、同盟顧問の田川大吉郎(元明治学院)が『基督教学校を開放して中華留學生を歓迎するの議』を出版しています。1943

戦後80年を迎えた今年、戦時下の教育同盟の様子について紹介したいと思います。

総会や委員会の動き

アジア、特に大陸との関係強化を目指す動きは戦時中の大陸政策に対応するもので、1939年頃から見られました。同年の第27回総会では、中国からの留学生をキリスト教学校に招致する計画を立てる案が議題として挙げられています。

1941年の第29回総会では同盟理事の広津藤吉(梅光女学院)から中国視察の報告があり、都田恒太郎(日本基督教聯盟総幹事)が「大政翼賛会東亜局

過去を知ること

以上の内容は、史料から明らかになる「事実」です。歴史を解明するためには、史料が不可欠です。逆に言えば、史料がないことについてでは明らかにできません。また、史料に書かれたことを文字通りに受け取っていいのかという精査も必要です。ですから、当時のキリスト教学校代表者たちの本音や真意を探ることは慎重でなければなりません。ただし、これらの史料から明らかになるのは、当時の教育同盟は国策に協力したという「事実」です。

過去を知ることは、その時代を生きた人たちに思いを馳せ、我が身を振り返ることであり、私たちは過去の出来事や人々に出会う機会を失ってしまっています。だからこそ、史料保存の意義があるので

戦後すぐに開かれた第33回総会(1946年)では、参加者から悔い改めの言葉が発表されました。同盟理事であった河井道(恵泉女学園)は「ザンゲ教師ノ信仰復活」と述

べ、同じく理事の都留仙次(フェリス女学院)も「ザンゲ 河井氏ニ同感 世界ニ対シテスマナカタ」

学内教職員研修会講師派遣制度 2025年度利用実績報告

本制度は、加盟学校が実施する学内研修会にそのテーマにふさわしいキャリアの講師を教育同盟が派遣し、参加した教職員がキリスト教教育や建学の精神の理解を深めることを目的としています。今年制度を利用された報告を参考に、来年度分の申込みをご検討ください。

「キリスト教学校の役割について」

講師：中島昭子氏(捜真学院 学院長)
姫路日ノ本短期大学

7月18日(金)、本校 職員研修会に捜真学院 学院長・中島昭子先生をお迎えし、「心の飾りが高く掲げてキリスト教主義学校の意義と役割」というテーマで講演をたまわりました。先生には遠方よりお越しいただき、心より感謝申し上げます。今回の研修は、学内教職員研修会講師派遣制度を利用して実現しました。この制度を活用することで、他校の教育理念や実践に直接触れる機会を得ることができ、私たちにとって大変意義深い時間となりました。制度を利用できたことにも、深く感謝申し上げます。

講演では、捜真学院が長年にわたるキリスト教の精神に基づいた教育を大切に歩んできたこと、そして教職員の皆様がその理念を揺るが

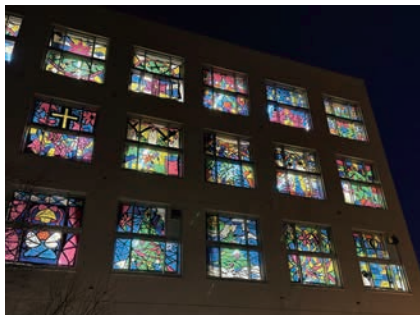


中島昭子氏による講演

| | | | | |
|--|---|---|--|---|
| <p>▽福岡女学院大学 国際キャリア学部 国際キャリア学科 職種Ⅱ英語教育学 講師(契約教員) 1名 応募締切Ⅱ26年1月15日</p> | <p>▽弘前学院聖愛中学高等学校 職種Ⅱ数学科、情報科、地理歴史科 専任教員 各若干名 応募締切Ⅱ12月23日 ▽明治学院中学校・東村山高等学校 職種Ⅱ非常勤講師 ①国語科3名 ②理科(中学理科・高校生物) 2名 ③家庭科1名 応募締切Ⅱ①26年1月22日 ③26年2月5日(受付は12/15)</p> | <p>▽聖学院中学校・高等学校 職種Ⅱ理科(物理・化学・生物) 非常勤講師 若干名 応募締切Ⅱ12月16日 ▽北陸学院中学校・高等学校 職種Ⅱ音楽科 専任教諭 1名 応募締切Ⅱ12月24日 ▽平安女学院中学校・平安女学院高等学校(全日制普通科学生年制) 職種Ⅱ①理科 ②③技術 ④⑤情報科 ⑥⑦家庭科 ⑧⑨非常勤講師 各若干名 応募締切Ⅱ12月12日 ▽平安女学院高等学校ミルトスコース(全日制普通科単位制) 職種Ⅱ①英語科 契約教員 ②理科(化学)</p> | <p>▽聖学院中学校・高等学校 職種Ⅱ数学科、理科、芸術科(美術)、保健体育科、情報科、聖書科 常勤講師 各若干名 応募締切Ⅱ12月12日 ▽大阪女学院中学校・高等学校 職種Ⅱ特別常勤A ①英語科 ②技術家庭科 ③社会科(世界史) ④⑤数学科 ⑥⑦特別常勤B(キリスト者採用) ⑧英語科 ⑨聖書科 ⑩技術家庭科 ⑪社会科(世界史) ⑫⑬数学科 ⑭⑮各1科 ⑯2名 ⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ 応募締切Ⅱ12月19日 ▽関西学院高等部 職種Ⅱ①英語科 契約教員 ②理科(化学)</p> | <p>▽非常勤講師 各1名 応募締切Ⅱ12月17日 ▽広島女学院中学高等学校 職種Ⅱ聖書科 専任教諭又は常勤講師 1名 応募締切Ⅱ12月18日 ▽西南学院中学校・高等学校 職種Ⅱ国語科、社会科、理科(生物)(物理) 養護 常勤講師 各1名 応募締切Ⅱ12月12日 ▽日本聾話学校(ラッシュアワー)学園幼稚部小学部・中学部 職種Ⅱ養護教諭 専任教諭 1名 応募締切Ⅱ26年1月7日</p> |
|--|---|---|--|---|

Shine like stars
in a dark world

北星学園女子中学高等学校の
ステンドグラスづくり



クリスマス礼拝前の3日間、午後の授業時間を準備にあて制作する

北星学園女子中学高等学校では、高校生を中心に中学と高校で毎年クリスマス活動の環境としてステンドグラス制作を行っています。ステンドグラスは、黒いラシャ紙を切り抜き、切り抜いた部分に色とりどりのセロハンを貼り重ねて作製

生徒による活動説明

(宗教主任 小西陽祐)

「毎年楽しみになっています」といった温かい言葉をいただきます。ステンドグラス制作は1970年代半



します。それらは、夜になると校内の光によって輝いて校舎を彩ります。デザインは、キリスト教やクリスマスに関連した温かみのあるデザインとなっています。美術科の先生に確認をしていただき描き上げます。どのステンドグラスも、キリスト教の考えに基づいた創意工夫を重ねたデザインとなっています。生徒たちはデザイン案をもとに、クラスごとに協力しながら制作に取り組めます。ステンドグラスは約二週間にわたり掲示されます。一般公開されるクリスマス礼拝では、卒業生や地域の方々から「とても綺麗ですね」「毎年楽しんでいます」といった温かい言葉をいただきます。ステンドグラス制作は1970年代半

神戸女学院
創立150周年



上空から見た学院全景

神戸女学院は1875年、アメリカンボードから派遣された女性宣教師イライザ・タルカットとジュリア・ダッドレーによって神戸に創立された、日本で最も長い歴史を持つ女性への教育機関のひとつです。2025年10月12日(日)はまさにその150年の当日にあたり、午後には学内のエミリー・ホワイト・スミス記念講堂で感謝の式典を執り行いました。キリスト教学校教育同盟、関係学校の皆様からも多くのご参加と御礼申し上げます。

神戸女学院はこの喜びの時のためにメイン

メッセージ『Bringing Generations』を立て、良質な伝統を再確認し、さらなる展開への願いを込めました。第一部の記念礼拝ではまず讃美歌「我の神に近づかん」を賛美しました。これは1874(明治7)年に発刊された日本最初の讃美歌の第一番にあたり、現在も讃美歌21・434番「主よ、みもとに近づかん」として歌い継がれています。一同で150年前の歌詞で唱和し、創立時へと思いを馳せました。院長による式辞に続き、キリスト教学校教育同盟を代表された関西学院院長の中道基夫先生をはじめ来賓の皆様よりご祝辞をいただきました。第二部は記念演奏会。本学音楽学部教員の作曲による詩編150編の合唱曲、続いて今回のメインメッセージを主題とする吹奏楽曲、そして1930年代の教員ヨーゼフ・ラスカ作曲のピアノによる祝祭曲を本年3月の作曲科卒業生が管弦楽に編曲した作品、これら三曲を学生と教員が初演しました。第三部では内田樹名誉教授による記念講演を伺い、未来への希望を共にいたしました。



記念式典と記念演奏会



周年にあたり改めて感じたのは、数字の積み重ねを超えた「神の業」への参与という視点を確認したいとの願いです。創世記には、神の呼びかけとそれへの応答による神の業が綴られています。私どもの学園も、神の呼びかけに応えた人たちが神の業に参与する中で今日へと導かれてきました。式典は、このことを覚え、聖書に基づく女性のための教育機関であり続けることなど先人の志を次世代に継承し、新たな拡がりへの祈りを心に刻む大切な機会となりました。同盟各校の皆様と共に、与えられた使命を

Merry Christmas

キリスト教学校教育同盟は
これからも与えられた使命に
務めてまいりたいと
願っています。

クリスマスの希望の輝きが
皆様とともにありますように。
主の平和と平安を
お祈りいたします
2025年12月25日

一般社団法人 キリスト教学校教育同盟
理事長 西原 廉太
事務局長 清水 広幸

キリスト教 Q&A

「教派」の違いは
豊かさと恵みを

関東学院 学院宗教主任
伊藤多香子



海外から帰国して入学した生徒から質問がありました。「わたしはハリストス正教会に所属していますが、教会についてのレポート課題を書く時にプロテスタント教会の礼拝に出席しなければなりませんか?」。本校ではキリスト教会の礼拝に出席することを奨励し、初めての時には「プロテスタント教会」を紹介します。しかしすでになじみのある教会がある場合は「キリスト教の教会であることを定めているだけですから、ご自身の所属している教会に出席してレポートを書きましょう」と伝えます。生徒は安心した表情を見せました。

イエス・キリストの十字架の死と復活、そして昇天の後、エルサレムに最初の教会が誕生しました。やがて弟子たちの宣教によって教会は各地に形成され成長します。さらに歴史を重ねていくうちに、教会は大きな3つのグループに分かれました。「正教会(Orthodox Church)」、

「ローマ・カトリック教会(Roman Catholic Church)」、「プロテスタント教会(Protestant Church)」です。それぞれのグループ間の違いはいろいろありますが、例えば教会暦などで知ることでもあります。また1549年に日本に初めて伝えられたキリスト教は「カトリック」でしたが、「正教会」は1861年に、「プロテスタント教会」は1863年以降に伝えられました。伝えられた時代や地域が違ったことが、日本におけるそれぞれの広がり方に影響しているようです。

さて「プロテスタント教会」に、教義についての考え方の違いなどによって「教派」が誕生します。プロテスタント教会の「教派」による違いは、礼拝の仕方や組織の作り方などに表れていることもありますし、礼拝堂の内部にあるものや礼拝奉仕者が礼拝の時に身につけるものの違いに表れることもあります。キリスト教学校教育同盟に所属する学校は違いによる多様性に満ちています。研修会で出会った他校の方々に、お互いの学校の礼拝や礼拝堂についてお話しすると、自分が所属する学校とは異なった様子に驚かれることもあるでしょう。この多様性の背景としていずれかの「教派」の違いがあることも少なくありません。

わたしたちが覚えておきたいのは、「教派」が違っても、三位一体の神さまを信じ、聖書を土台として「イエスはキリストである」ことを信じることで一つであり、多様性による豊かさという恵みが与えられていることです。

ますます深めてまいれますように。
ますます思いを合わせ
たく存じます。

飯 謙

事務局長 だより
アドベントを迎え
ました。私たちはイエス
・キリストとの出会い

の喜びを分かち合います。学生・生徒・児童に愛を持って接し、時には過ちを赦し、未来を信じて信頼を寄せます。クリスマスを迎えるにあたり、改めたいと思ふ点を挙げて、皆様の多忙な業務に温かな光を添え、豊かなクリスマス恵みとなり、お祈り申し上げます。事務局長

<行事予定> ※予定は状況により変わることがあります。

| | |
|---------------|-----------------------------------|
| 12/26(金) | 教育研究委員会全国委員会(教育同盟事務局) |
| 2026年 | |
| 1/16(金)~17(土) | 第68回小学校代表者研修会 (西南学院小学校/長崎市内視察) |
| 6/5(金)~6(土) | 第114回定時総会(沖縄キリスト教学院) |
| 11/6(金)~7(土) | 第68回中学校代表者協議会(聖ステパノ学園) |